

平成 25 年度「草加市の明日の保育を考える市長懇談会」資料

平成 26 年 2 月 28 日

草加市長 田中和明 様

草加市保育園父母会連合会 会長 芹澤 一洋

田中市長におかれましては、日頃より草加市の子育て環境向上のためにご尽力をいただき、誠にありがとうございます。またこのたびは、草加市のよりよい保育を考えるための市長懇談会を開催していただき、誠にありがとうございます。

今年度のトピックスとしては、何よりもまずは草加市内でも待機児童の増加が見られ、待機児童保護者が署名を集めるまでになったことです。この問題には、市役所、市議会がすぐさま一丸となって取り組んでいただき、来年度より民間認可保育所一園の開園を決定していただきました。

今年度も父母連は、約 1700 の保育園世帯にアンケートを実施し、よりよい保育を望む多くの保護者の声を集めました。また毎月の各園父母会による代表者会にて、様々な要望や意見を吸い上げてきました。それらを下記にまとめ、市長懇談会の資料とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

記

<待機児童対策について>

①待機児童数増加とその解消について

これまで草加市では民間認可保育園の新設を続け、待機児童は着実に減少してきています。しかし、2014 年 1 月現在の草加市基準待機児童数は 678 人となっており、依然として待機児童対策が最重要課題の一つであると父母連では認識しています。特に今年度の待機児童の増え方は例年を大きく上回っており、私どもも非常に驚いています。市としては、この待機児童数の異常とも呼べる増え方の原因やその傾向、地域的な分布などの状況の把握はしておりますでしょうか。原因等把握されているようでしたらお聞かせください。

また、今年 4 月に民間認可保育園が 1 園開設され、さらに来年 4 月に 3 園開設される予定だということ伺いました。非常に非常に感謝しております。この 4 園が開設されることによって、今の待機児童数がどの程度解消されるとお考えでしょうか。

②待機児童数対策についての私たち保護者のアンケート結果

私たちのアンケートの結果、自分自身はすでに保育園に預け入れた立場でありながら、待機児童に興味がある方が全体の 95% に上り、さらにその 70% 近くの保護者が「保育の質が低下するのならば待機児童対策をすべきではない」と回答しています。つまり、草加市内の保育園保護者は、『安易な待機児童対策は否定されるべきだ』という意見を持っていることがアンケート結果から分かりました。

市の待機児童対策には大変感謝しておりますが、保育の質は今後も落とさないと今一度確認させてください。今までの市の方針から、新設される民間認可保育園の質の良さは保証できると言って間違いないと思いますが、事業者との連携を密にさせていただきますでしょうか。

<保育料の引き下げについて>

①引き下げについて

私たち父母連が毎年行っているアンケートでは、ここ 10 年、毎年毎年 1 位に挙げられる殿堂入りとも言われる要望があります。それが『保育料の引き下げ』です。

特に 0～2 歳児の乳幼児、中でも東京都内から引っ越して来られる方からの声が多いです。市へは毎年お願いしている要望ではありますが、毎年同じようなお答えが返ってきます。「保育園は一般財源の中からも運営費を拠出している以上、家庭で保育している方や幼稚園に入園している方も含めた全世帯が負担していることとなります。よって保育園に通われている方には相応のご負担をいただいております。

ります。」とお答えです。

市の財政状況が潤沢でないことは理解しているつもりです。そしてお金を使わなければならない事業は子育て支援以外にもあるとは重々承知ですが、「子は宝」と言う格言がある通り子育て支援に少しでもお金を回していただき、保育料を引き下げてくださいと思います。

<子ども・子育て支援新制度について>

草加市子ども子育て会議も3回の会議を終え、第4回、第5回が近く開かれようとしています。ニーズ調査の結果も大変気になるところではありますが、結果がどうであれ現在の保育園の質を落とすようなことはあってはならないという認識を私達保護者はもちろん、市も持っていていただいていると思います。

草加市子ども子育て会議の事務局から提出される草案が、子ども子育て会議に諮られることになりますので、その草案を作成する段階で次のことを是非とも盛り込んでください。

- ア 短時間保育は8時間以上とすること。
- イ 長時間保育は12時間以上とすること。
- ウ 保育料をはじめとする保護者の出費（給食費や備品代も含む）を現状より悪化させないこと。（給食費やおやつ代、備品代等を別途徴収しないこと。応能負担とすること）。
- エ 保育園・家庭保育室への入園申し込みの手続きが、今まで以上に保護者への負担を強いることの無いようにすること。
- オ 草加基準（面積、設備、職員数、保育士比率、看護師/栄養士/技能員の配置）は現行通りかそれ以上とすること

<病児保育の拡充、育成保育の充実について>

①病児保育の拡充

私たち父母連が毎年行っているアンケートの結果、保護者からの要望2位に挙げたものが『病気の時に預けられる施設の拡充』でした。草加市内では病児を預けられる施設は草加駅前のファミリーサポートの事業しかありません。ファミサポは、病児保育以外でも、子育てに困ったときに頼りになる非常に心強い味方で、その存在はかけがいの無いものです。事業継続ありがとうございます。しかし、受け入れていただける預け先がほとんどなく、いざ利用したくてもできないことが多いのが現状です。

病児を預けられる環境、特に施設型の病児・病後児保育施設の拡充を切に願います。また、その利用料金も高額となっていますので、市からの補助額を増額していただけると大変ありがたいです。

②育成保育について

公立保育園での育成保育対象児の受け入れ、ありがとうございます。しかしながら公立保育園のみでの受け入れとなると、待機児童の緩和や、民間認可保育園でのノウハウの蓄積にも問題があると考えます。是非とも、民間認可保育園でも育成保育を実施するよう検討してください。

育成保育対象児が時間外保育や延長保育を希望している場合は、今後も希望している園児全員が利用できるような必要な人的配置をお願いいたします。

また、近年は育成保育対象児が増えているという認識ですが、現場の保育士、看護師や保育課の職員を対象とした障害に関する研修・学習を充実させてください。

<職員がいつまでも働き続けたくなるような職場環境づくりを>

①保育士の確保

保育士が少ないために、施設の枠はあるのに保育園に入園できない、という問題が今年度になって顕著になったと思われます。集まらない原因は、待遇の低さにあるのではないかと私たちは考えています。よって、正規職員の採用を増やしてください。正規職員の採用が難しいのであれば臨時職員に頼らざるを得ないという実情は、ある程度はやむを得ないことであると理解はできます。しかしながら募集をかけても集まらないのが現状であるうえ、国の政策を鑑みるとこれから数年で保育施設は増えることになるはずで、保育士不足は深刻化の一途をたどることになると予想されます。質の高い臨時職員を一人で

も多く確保するため、そしてその方々の生活を保障するため、臨時職員の待遇をいまいちど見直してください。

①看護師の確保

保育士のみならず、看護師不足も非常に気がかりです。

市の御尽力によって解決したことは大変感謝しておりますが、昨年のきたうら保育園の看護師退職問題は記憶に新しいことですし、しのは保育園の看護師不在問題はいつまで経っても解決されません。こちらは待遇の低さは保育士の比ではありません。一般的な求人を見ると、夜勤の無い非正規(准)看護師の時給の相場は1300円～1500円程度ですが、市の賃金体系では950円となっています。

私たちのアンケート要望の第3位が『保育職員の増員』、4位が『臨時職員の待遇改善』となっています。賃金の低さが保育士や看護師の確保を難しくしている大きな要因であることは明白ですので、ぜひ賃金増や退職金支給を含めた臨時職員の待遇改善をお願いします。

<保育園でのこども教育連携推進について>

教育委員会での議事録を拝見する機会がありました。内容は、全国統一テストの草加市内の成績が平均以下であることを危惧するものでした。そして、「幼稚園や保育園等の未就学時の教育に力を入れるべきだ」という意見がありました。

昨年策定された「草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画」と関連するものでもあります。教育委員会で提案された「草加市の学力向上のため幼稚園や保育園等の未就学時からの教育に力を入れるべきだ」という意見について市ではどうお考えかお聞かせください。

また、小1プロブレムを解消するための教育連携の進捗状況や決定事項を、保育園を通じて知らせてください。

<財源について>

①補助金について

国や県からの子育て支援用の補助金は一般財源に算入されるということを聞きました。新制度に移行した後も、補助金の使途を他の事業に回さず、子育て支援に使うようにお願いします。

②子育て支援を応援できる体制作りを

例えば、他市に住む祖父母が草加市の子育て支援を応援したいと思っても、それを実現できる仕組みが現在はありません。また、私たち保護者が、保育園事業に限って寄付をしたくてもそれを受け入れる仕組みがありません。

そこで、ふるさと納税をもっと活用してはいかがでしょうか。少々調べたのですが、草加市はふるさと納税の受け入れ先として力を入れているとは言えず、他市へ納税していることの方が多いのではないのでしょうか。他の市区町村では納税した方へお土産を送付する自治体も数多くあるようです。草加市でも、特産品であるゆかたや皮革、せんべい等をお土産とすれば、これらの産業を全国へアピールするチャンスにもなり一石二鳥です。

そして、ここが一番重要なのですが、ふるさと納税では、納付先を一般財源のみとせず特定の事業に対して寄付する制度もあるようです。そこで、『子育て支援事業』『保育園支援事業』の2つを是非とも寄付先として選択できるようにしていただきたいです。前向きにご検討をよろしく願いいたします。

～以上～